

30. 神戸情報大学院大学 / 神戸電子専門学校

はじめに

プログラムについて

プログラム一覧

プログラム内容

プログラムお問合せ



人道支援の地「神戸ユダヤ共同体」（神戸ジューコム）跡地を見学して 平和や人道支援（難民支援）について学ぶ



プログラムスケジュール例

- 10：00～ ①神戸ジューコム跡地見学と説明
- 10：50～ ②ワークショップ
- 11：20～ ③神戸北野の異人館散策（希望制）
- 12：00 終了

実施場所：神戸電子専門学校 北野館
（神戸市中央区山本通1-6-35）

実施時間：平日 10：00～12：00(応相談)

所要時間：約 2 時間

実施可能人員：10名～80名程度

実施費用：1,500円/人

杉原千畝「命のビザ」のその後をご存じですか？

今からおよそ80年以上前。本校南館の石垣に、神戸ジューコムと呼ばれる「神戸ユダヤ共同体」がありました。世界では第二次世界大戦の戦火が広がり、ナチスドイツのホロコーストと呼ばれるユダヤ人に対する大量虐殺が始まりました。そのころリトアニア日本領事代理 杉原千畝氏が発給した「命のビザ」を受取り、ヨーロッパから逃れてきたおよそ5000人のユダヤ難民が、福井県の敦賀を経て、神戸ジューコムに逃れてきました。神戸ジューコムの人々はユダヤ難民の支援を献身的に行い、神戸市民との温かい交流もありました。ユダヤ難民は亡命先が決まるまで、神戸の北野町周辺におよそ1年にわたり滞在しました。多くのユダヤ難民が、神戸で命を繋いだのです。



リトアニア
日本領事代理
杉原千畝（1900-1986）
（外務省外交史料館 所蔵）

神戸情報大学院大学

「探究実践プログラム」と「ICT4D」により、「ICTを軸に新たなサービスを提供できる人材」を目指す専門職大学院です。世界中から国や企業を代表して入学する志の高い留学生が多数在籍しています。学びを活かして国際協力の活動に参加している卒業生も多数輩出しています

※専門職大学院とは、従来の大学院理論教育に実務教育をプラスし、高い専門性を有する人材を育成する大学院です。

①神戸ジューコム跡地の見学と説明

神戸ジューコムの跡地である石垣を見学します。また、現存する当時の貴重な写真や映像を交えながら神戸ジューコムの歴史についての説明をします。実際に神戸で支援を受けた難民の方の体験談などから、神戸とユダヤ人との関わりや歴史的背景について学び、平和について考えて頂きます。ユダヤ難民と神戸市民との温かい交流を通じて、人道支援について学びます。



②ワークショップ

難民支援について考え、平和や公正な世の中にするために自分たちができることをグループで考え、発表していただきます。



③神戸北野の街を散策

神戸北野の異人館街を散策します。神戸北野の異人館街は港町として栄え、国際色あふれた、異文化を取り入れた街です。80年前にユダヤ難民たちが過ごした街を散策することにより、難民をあたたかく受け入れた、北野の街の多様性を学ぶことができます。





学習のポイント

- ① 人道支援（難民支援）の ところからSDGs を学ぶ
- ② 平和と公正について学ぶ
- ③ 身近に難民がいたら、あなたに何ができるか考える



学習の流れ（モデル）

